



2025年2月14日

各位

会社名 神戸天然物化学株式会社
代表者名 代表取締役社長 真岡宅哉
(コード番号 6568 東証グロース)
問合せ先 取締役経営企画管掌 井上隆一
(TEL. 078-955-9900)

2025年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年5月13日に公表いたしました2025年3月期(2024年4月1日～2025年3月31日)の通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 通期業績予想の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	9,000	1,380	1,380	960	124.36
今回修正予想(B)	7,850	750	900	639	82.71
増減額(B-A)	▲1,150	▲630	▲480	▲321	
増減率(%)	▲12.8%	▲45.7%	▲34.8%	▲33.4%	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	9,154	2,081	2,094	1,493	193.50

(2) 修正の理由

2024年5月13日に公表いたしました通期業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)につきまして、量産および開発ステージ案件を中心に需要を獲得する計画としておりました。

しかしながら、当初想定していた案件の需要が進捗せず、売上・利益ともに当初予想を下回る見込みとなりました。

売上高は機能材料分野で計画を上回る見込みであるものの医薬およびバ

イオ分野で計画を下回るため、全社として期首予想を下回る見込みとなりました。医薬分野において、期首に想定していた量産ステージの需要が低調でした。それを補うために研究開発ステージ案件の獲得に注力しましたが、十分に補うことはできませんでした。また、バイオ分野においても、期首に想定していた開発ステージ案件が獲得できず、新規案件の獲得が十分に進捗しませんでした。

また、損益面では人員獲得の調整や研究助成金収入が期首想定に対して増益要素と働きました。しかしながら、大幅な減収効果が大きく国家プロジェクト参画による研究開発費の増大などが減益要素となり、営業利益、経常利益ともに当初予想を下回る見込みとなりました。

※本資料に記載されている業績予想に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により異なる場合があります。

以 上